

第2回 シリウスフェスティバル



イベントメニュー

《1F／駐車場エリア》

マルシェ

地元特産品などを販売するマルシェ

みたらし団子販売

(NPO 法人下野・活き域ネットさん)

パン販売

(垂坂山ブルーミングハウスパン工房さん)



中北薬品ブース

「活命茶」や「甜茶飴」など取扱商品の試飲等やおにぎりの販売を行います。



※各ブースの内容につきましては当日の状況により変更となる場合がございます。何卒、ご了承ください。

チャリティバザー

スタッフが持ち寄った物やご協賛いただいた商品等を販売致します。なお、チャリティバザーでの収益は「国境なき医師団」等の慈善団体へ寄付いたします。



健康相談・お薬相談

《ファミリーサポート薬局 山城店》

健康のことやお薬のことなど担当スタッフや薬剤師にお気軽にご相談いただけます。



《2F／エリア》

講演・ミニコンサート (ZiTacホール)



- 9:00～ 9:40
「いしが在宅ケアクリニックの15年を振り返って」 石賀 丈士 (医 師)
- 9:45～ 10:05
「小児外科医が在宅医療認定専門医になって思うこと」 大竹 耕平 (医 師)
- 10:10～ 10:30
「自然の癒しの助けを借りて、今、在る命に向き合う」 ナチュラルケアの保健室cotori 看護師 大森 千鶴
- 10:35～ 11:00 「ガイアの夜明け」 上映
- 11:00～ 12:00 「結里花ミニコンサート」 矢原由佳子 (医 師)

医療介護相談

医療や介護でのお困りごとを担当スタッフへお気軽にご相談いただけます。



※内容につきましては当日の状況により変更となる場合がございます。何卒、ご了承ください。



《3F／シリウスキッチン》

栄養相談

栄養のこと、食べ物の疑問、食べ合わせなど当院の管理栄養士にお気軽にご相談いただけます。



看護師だより

今回は当院の看護師についてご紹介します。私達は女性14名、男性2名の計16名（鈴鹿院を含む）で毎日楽しく、時には厳しく仕事をしています。世代は幅広く経験も様々で、中には沖縄出身の人がいたり、社会人を経験してから看護師になった人がいたりバラエティにとんでいます。

朝の出勤後、まず初めに行うことは訪問の準備です。限られた時間でその日訪問する患者様の様々な準備に取り掛かるので、朝は一日の中で最も忙しい時間です。看護師同士ゆっくり話ができるのは、訪問から帰って来た後です。訪問中に起こった出来事、困ったことなどを各々が発信すると、その場にいる看護師たちから妙案が出ることもあるので、この時間はとても重要です。またその話と同様に盛り上がることは、食べ物のお話です。外回りの仕事ですので外食する機会も多く、おいしい物には必然的に詳しくなります。中には行きつけのお店がある人もいますので、もしおいしい物が知りたいと思っている方がいらっしゃったら、訪問している看護師に聞いていただくと良い答えが返ってくるかもしれません。



情報共有はそれだけではありません。イベント（例えばシリウスフェスティバル等）が開催されるとなると必死で盛り上げる方法を考えます。そんな愉快的仲間達の集まりなので、もし療養生活の中で不安なことや分からないことなどがあつた時は、いつでもお気軽に話しかけて下さいね。

情報共有はそれだけではありません。イベント（例えばシリウスフェスティバル等）が開催されるとなると必死で盛り上げる方法を考えます。そんな愉快的仲間達の集まりなので、もし療養生活の中で不安なことや分からないことなどがあつた時は、いつでもお気軽に話しかけて下さいね。



管理栄養士だより



今回紹介させていただくのは、栄養指導の介入を開始してから約1年になるHさんです。Hさんはウィルソン病と嚥下障害があり、寝たきりの状態で一人暮らしのため、24時間ヘルパー対応をされています。

介入当初は1食分の食事内容がエンシュアゼリー＋ヨーグルトやプリン等で、ゼリー又はプリン状のものを1～3品程度召し上がっておられました。ご本人からは「エンシュアを止めたい」、ヘルパーさんからは「毎日同じ物ばかりでかわいそう。現在の嚥下能力で食形態はどこまで対応可能か？この間温泉卵をあげてみたら、温泉卵は大丈夫だった。ウィルソン病の食事はどんなものが良いのか？最近太ってきている気がする。オムツのサイズがこれ以上はないから不安。」などの訴えがありました。

そこで、誤嚥の予防・体重及び体調を改善しながらHさんの食の楽しみを取り入れていけるかを検討し、実施していきました。コロナに罹患した際は嚥下機能低下がみられましたが、現在は回復し、嚥下調整食3レベルの食事を召し上がれるようになっておられます。

また、スイーツ中心の食事内容だったのですが、現在では主食・主菜・副菜といった内容に改善されています。今後も体重維持とウィルソン病の食事対応を継続していきたいと思っています。

管理栄養士 藤田

